

中部電力グループの従業員 1.5 万人が使用する ERP システムの活用「テックタッチ[®]」を導入

～ 問い合わせ 55%削減や操作時間 29%短縮など、効果を発揮 ～

デジタルアダプションプラットフォーム (DAP) 国内シェア No.1 の「[テックタッチ](#)」を開発・提供するテックタッチ株式会社、および販売パートナーである株式会社アシストは、中部電力株式会社 (以下、中部電力) がグループ 3 社で従業員 1.5 万人が使用する ERP システムなどに「テックタッチ」が導入されたことをお知らせします。中部電力グループでは、「テックタッチ」の導入により、問い合わせ件数が 55%削減、操作時間が 29%短縮されるなど、大幅な業務効率化を実現しました。(効果はいずれも初期導入における実績)



中部電力

アシスト

 **Techtouch**

■導入の背景

中部電力は「中部電力グループ経営ビジョン 2.0」の中で「DX を活用した価値創出・業務変革」を宣言し、総合エネルギーサービス企業として経営のトランスフォーメーションに注力しています。これまでスクラッチ開発で業務のシステム化を進めてきましたが、システム保守の限界、技術者不足といった維持管理上の課題や、経営管理要件や今後の制度変更・環境変化への対応が課題となっており、その解決のため ERP システムおよびクラウド型調達購買システムを導入しました。

しかし、旧システムを使い慣れたユーザーにとっては新システムへの移行は容易ではなく、多い日には 1 日 100 件を超える問い合わせが発生していました。画面上で直接操作を案内することで入力ミスを防止し、操作を自動化できる「テックタッチ」の存在を知り導入に至りました。

■活用効果

「テックタッチ」の導入により、業務とシステムのギャップ、スクラッチ開発システムとの感覚の差を埋めることでシステム操作におけるユーザーの負担を軽減し、ERP システムとクラウド型調達購買システムを中心とした、デジタル技術を活用した業務変革等への対応力・柔軟性が向上しました。例えば、複数の手順が発生する操作では、1 回のクリックで自動化する等、問い合わせ削減に留まらず生産性向上にも寄与しています。これらは追加の機能開発をすることなく、ノーコードで実装できました。導入の結果、問い合わせが 55%削減、操作時間が 29%短縮、不備伝票が 1/6 に削減されるなどの目覚ましい効果が表れました。(効果はいずれも初期導入における実績)

「テックタッチ」実装例（購買発注登録）



「テックタッチ」実装前

①契約の種別を変更

②ボタン押下

③正しいものを選択

④契約番号を入力

「テックタッチ」実装後

○ 途中の操作ミスの可能性がゼロに

○ 4回の操作が1回の操作に

○ 操作の迷いなし

①どちらかを選択

資料提供: 中部電力

「テックタッチ」導入の効果



■ 問い合わせ削減 → **55%削減**

(カタログ購買・引越)

【導入前 2023年9～10月】 201件



【導入後 2024年9～10月】 90件

■ 操作時間短縮 → **17分短縮**

(引越)

(29%短縮)

【導入前】58分 → 【導入後】41分

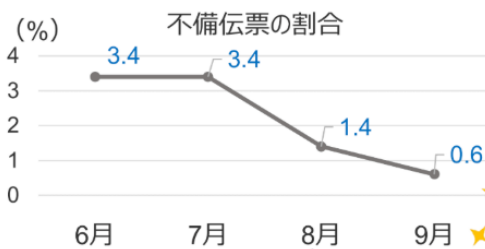
■ アドオン抑制

ERPシステムへのアドオン追加を抑制し、
かつ迅速に機能追加を実現

■ 電子帳簿保存法の不備伝票の削減

納品書等ファイルが法的要件を満たしたものであるかどうか
注意喚起表示をテックタッチで実装

→ **不備伝票の割合 1/6に削減**



8月「テックタッチ」実装

→ **新システムが狙ったメリットを徐々に享受**

問い合わせを55%削減、操作時間を29%短縮、不備伝票(その後の対応作業が必要)を1/6まで削減など高い効果を発揮

資料提供: 中部電力

■今後の予定

中部電力では、問い合わせ削減を達成した後も、「テックタッチ」を活用してさらなる業務効率化と、調達システムの DX 基盤化を進めます。具体的には、「テックタッチ」の操作自動化機能を活用し、承認プロセスや注文処理などを自動化することで、業務を迅速化し、人為的なミスを削減します。また、入力ガイドやデータチェック機能により、データの精度を向上させます。また「テックタッチ」による AI 実装や分析機能の進化による、さらなる生産性向上を目指しています。

今後の目指す姿



問い合わせの削減が一段落した後は、業務効率化および真のDX基盤への進化を目指す

今後の目指す姿

■ユーザーが業務を効率的に行えるシステムへの進化

【取り組み】 「テックタッチ」を活用した操作自動化により業務効率化を加速

■真のDX基盤としてのシステムへの進化

【取り組み】 「テックタッチ」による誘導により登録データの精度向上を実現し、データ活用を推進



今後の「テックタッチ」への期待

■AIの実装による自動化機能の進化 → さらなる生産性向上

■分析機能およびテックタッチAIの充実 → さらなるフロー改善 → さらなる生産性向上

資料提供：中部電力

■中部電力株式会社 マネジメントサービス本部 調達センター システムグループ長 高田 発 様のコメント

中部電力では、デジタル技術を活用した業務変革等への対応力強化や、柔軟性の確保に力を入れています。

システム操作の難しさなどから、刷新したシステムのメリットを享受できなかったのですが、「テックタッチ」によって大きく解決できました。またカスタマーサクセス担当の方が、当社の業務を深く理解した上で解決策の提案をしていただけることに大変感謝しています。

今後も「テックタッチ」によって、業務効率化を加速させ、また調達システムが真の DX 基盤となることを目指していきます。

■中部電力株式会社について

1951 年創業の中部電力株式会社は、中部エリアを中心に、暮らしに欠かせないエネルギーである電力をはじめ、ガスやオンサイトエネルギーなどの安価で高品質なエネルギーサービスを提供しています。また、再生可能エネルギーの導入やデジタル・トランスフォーメーション(DX)にも積極的に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献しています。

本社：愛知県名古屋市東区東新町 1-1

代表取締役社長 社長執行役員：林 欣吾

URL：<https://www.chuden.co.jp/>

■株式会社アシストについて

アシストは、特定のハードウェアメーカーやソフトウェアベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースを中心に、近年では動画活用、生成 AI 分野なども拡充し支援しています。顧客企業におけるデジタル・トランスフォーメーションの推進に貢献すべく、2020 年 10 月より、システムの活用度・定着度を高め、導入効果の最大化を実現する製品として「テックタッチ」の取り扱いを開始しています。

本社：東京都千代田区九段北 4-2-1 市ヶ谷スクエアビル

代表取締役社長：大塚 辰男

URL：<https://www.ashisuto.co.jp/>

■AI 型デジタルアダプションプラットフォーム (DAP)「テックタッチ」について

テックタッチ株式会社は、デジタルアダプションプラットフォーム (DAP)「テックタッチ」を提供し、国内シェア No.1 を誇ります。600 万人 (2024 年 8 月時点) を超えるユーザーに利用され、大手企業や官公庁などに導入されています。「テックタッチ」は、ノーコードで操作ガイドを簡単に作成・実装できるため、システム担当者の負担を軽減し、ユーザーのスムーズなシステム利用を促進します。グッドデザイン賞、経済産業省が選ぶ J-Startup 認定など、受賞多数。AI 機能を強化した DAP の開発に注力するなど、あらゆる企業の IT 活用を支援しています。

＜テックタッチで設定したナビゲーションの例＞

<https://youtu.be/ANlhdR2MJo4>

■テックタッチ株式会社について

所在地：〒105-7105 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター5 階ワークスタイリング内

代表取締役 CEO：井無田 伸

事業内容：デジタルアダプションプラットフォーム「テックタッチ」の開発および提供

URL：<https://techtouch.jp/>

メディア URL：<https://techtouch.jp/media/>

■プレスリリースに関するお問い合わせ

＜サービス導入に関するお問い合わせ＞

テックタッチ株式会社 営業担当：西野

URL：<https://techtouch.jp/contact>

＜取材のお問い合わせ＞

テックタッチ株式会社 広報担当：中釜・後藤・脇屋

pr@techtouch.co.jp

株式会社アシスト 広報担当：寺田・曾根原・吉田

TEL：03-5276-5850

URL：https://www.ashisuto.co.jp/corporate/press_room/

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。